

K220.72

44a

3

最新
中等習字帖
下

寶文館編輯所編纂
愛石玉木本三郎書

(大正版)

東京
大阪

寶文館藏版

(大正二年改版)



東京 實文齋發行

新編 中學教科書 下

(大正五年)

(大正五年七月)

緒言

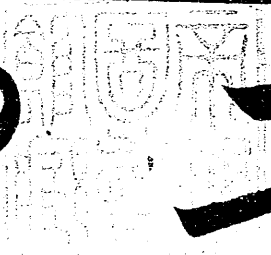
- 一 本書は中學校教授要目に基つき中等教育程度の各學校教科書に充つる目的にて編纂せしものなり。
- 一 本書の主旨は從來の教科書の如き難解の字句格言等を材料として強ひて讀書科と聯絡を保たんとし一方於ては實際習字上の要素を缺きたる偏重の弊を避けて専ら習字科教授の最良方法により**基本練習**を以て出發點とし順次**運筆結構の要訣の授け**を以て之を類雜せしむるに在り。
- 一 本書は右の主旨に依り僅かの時間於て教授と練習とに十分の力を用ゐる**習字科**の効果を多大ならしめんとするものなれば材料は教授と應用と相俟ちて進むことを圖れり。
- 一 本書の教材の配當は別表の如しされど實際教授時數の増減によりては適宜斟酌すること教授者に一任せり。

明治四十二年七月

編者 識

主 要 點 畫

ア ア
イ イ



Handwritten notes in vertical columns, likely providing detailed instructions or examples for writing the characters 'ア' and 'イ'.

臨 書 局

主要黑畫

西
南
圓
岡

身
勞
劣
尚

西
南
圓
岡

身
勞
劣
尚

西
南
圓
岡

身
勞
劣
尚

(一) 點畫大意

第一習



點畫大意 (二)

あ

第二習

あ

點畫大意 (一)

あ

第一習

あ

列別前謝

あ あ あ あ

步 戎 師 州

あ あ あ あ

西 南 圓 圓

あ あ あ あ

東 燕 於 於

あ あ あ あ

(二) 畫大畫

卷二 晉



(一) 字文用應
習三第

西。洋。方。圓。優。劣。
身。體。若。身。靜。善。
步。切。金。銜。鼓。沙。
烈。風。送。子。永。持。

西。洋。方。圓。優。劣。
身。體。若。身。靜。善。
步。切。金。銜。鼓。沙。
烈。風。送。子。永。持。

(三) 意大畫點

習四第



爭事何序

爭
事
何
序

馬尊篤高

馬
尊
篤
高

馬尊篤高
馬尊篤高
馬尊篤高
馬尊篤高

(三) 點畫大意

習四第

其
尊
高
高

高
高
高
高
高

車
車
車
車
車

車
車
車
車
車

(四) 點畫大意

習五第

寺
守
得
尋

寺
寺
寺
寺
寺

明
有
道
常

(二) 字文用應
習六第

其子。有物。順序。
字。行。字。書。無。考。
海。禮。時。日。考。門。
月。意。考。合。及。程。

其子。有物。順序。
字。行。字。書。無。考。

其子。有物。順序。
字。行。字。書。無。考。

(一) 用應の其ひ及字文形類

(甲) 習七第

右
衣
水
各
衣
水
各

衣。水。各。衣。水。各。
衣。水。各。衣。水。各。
衣。水。各。衣。水。各。

(二) 習六第

第六習

衣。水。各。衣。水。各。
衣。水。各。衣。水。各。
衣。水。各。衣。水。各。

(二) 用應の其び及字形類

(乙) 習七第

理由。考。也。字。内。至。末。
收入。以。活。放。校。効。能。

玉 至 文 交

玉

至

文

交

玉 至 文 交

玉 至 文 交

玉 至 文 交

(一) 字文形類
習一第

豐		云	
無		言	
登		會	
愛		念	

(二) 字文形類
習二第

來	來	林	林
成	來	再	再
歲	來	并	并
幾	來	菁	菁

豐	豐
無	無
登	登
幾	幾

來
來
來
來
來

來
來
來
來
來

赫
再
并
集

其
其
其
其
其

豕
豕
豕
豕
豕

我
義
舉
集

深
源
孫
縣

深
源
孫
縣

類文習字 (三)
習三第

類文習字 (四)
習四第

發

友

友

友

友

友

友

友

友

友

友

友

友友友友友友友友

友

發

夏

度

府府府府府府府府

府

應

處

慶

五) 字文形類
習五第

影
歌
順
訓

滿
備
辭
舞

影

歌

順

訓

滿

備

辭

舞

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like '影', '歌', '順', '訓', '滿', '備', '辭', '舞'.

漸
漸
漸
漸

或
或
或
或

深
深
深
深

深
深
深
深

第六習

少
少
少
少

一
一
一
一

未
未
未
未

階
階
階
階

端書の書式 第七習

流状は定常城の越
空想は空想の如く
空想は空想の如く
十月十日 林 茂 經

政事市街定常
森山清樹



流状は定常城の越
空想は空想の如く
空想は空想の如く
十月十日 林 茂 經

第一習

仙客素抱
神龍極志
雲如執素
白扇倒懸
洞中澗
烟如柄
東海令

仙客素抱

神龍極志
雲如執素
白扇倒懸
洞中澗

烟如柄
東海令

第二習

おうづあまのこはよく書か
 まりしやなりの歌よみき問
 なごころをよみしそは心
 けりしやなりの歌よみき問
 音のこもよみしそは心
 りそらなからけりしそは心
 めりしそは心

(平居宣長)

おうづあまのこはよく書か
 まりしやなりの歌よみき問
 なごころをよみしそは心
 けりしやなりの歌よみき問
 音のこもよみしそは心
 りそらなからけりしそは心
 めりしそは心

第三習

ほのなまかゝるめすまじき
人ねらる中も是の程
あまは詩文のつらさの
書きよみ少くもふかして
つたまのこころや

(貝原益軒文訓)

[Faint, illegible handwriting on the right page]

Handwritten notes on the left page, including the word "Lithology" and other illegible text.

Handwritten notes on the right page, including the word "Lithology" and other illegible text.

前略

上野公園の遊園地は、

よく書き添えて、

附き添へて、

先へ送らうと、

今朝も、

書きたる、

清熱の事、

は、

お、

は、

は、

は、

は、

は、

如く書き通して御覽
附き送り 縦横の両方
元より一より七迄あり
今朝の如く申越され
書き通して御覽の如く
清熱の事なきは百
三三三三三三三三三
中三三三三三三三三
三三三三三三三三三
三三三三三三三三三
三三三三三三三三三
三三三三三三三三三

二頁

泰山清

林茂雄様

是下

式書紙式

習五第

あ
ろ

い
ろ

穂
ま

か

う
ろ

な
ろ

う
ろ

ろ

か
ら

平假名の書法 第四回

あ
い
う
え
お
か
き
く
け
こ
さ
し
す
そ
た
ち
つ
て
と
な
に
ぬ
ね
の
ひ
ふ
ぶ
ほ
ま
み
む
も
や
ゆ
よ

五十年
第五卷

1950

1950

1950

1950

1950

立 中学核

第三卷

273
3
89

[Faint, illegible text, possibly a list or index]

[Faint, illegible handwritten text]

V=2017

明治四十三年八月二日印刷
明治四十二年八月七日發行
明治四十三年七月十日訂正再版印刷
明治四十三年七月十日訂正再版發行

明治四十四年九月十日訂正再版印刷
明治四十四年九月十五日訂正再版發行
大正二年九月七日訂正再版印刷
大正二年九月十日訂正再版發行

定價各金拾八錢

許不複製

寶文館編輯所編纂

書者 玉木本三郎
發行兼 大葉久吉
印刷者

東京市日本橋區本石町三丁目十七番地

發行所 東京市日本橋區本石町三丁目
(振替口座) 東京二八〇番

關西專賣 大阪市東區淡路町四丁目
(振替口座) 大阪四三番 合資會社 大阪寶文館